

## 大腸内視鏡検査説明書

大腸について調べるために内視鏡による検査をおこないます。必要な場合は、引き続き内視鏡下にポリープ切除（内視鏡的切除術）などの治療もおこないます。

1. 内視鏡検査に使用する機器の適切な選択と検査後の消毒のため、事前にウイルス等の感染症（B型肝炎、C型肝炎、梅毒）を調べるための血液検査をさせていただきます。
2. 検査を行うための下剤などの服用や食事の制限があります。便が残っている場合などは、浣腸や洗腸を追加させていただくことがあります。
3. 前処置に用いる薬剤や検査の苦痛を和らげるための鎮静剤による影響のために目がちかちかしたり、眠気やふらつきが残ることがあります。このため検査当日のお車の運転は危険ですのでおやめください。万一、無理に運転して事故などをおこしても、当院は責任を負いかねます。鎮静剤などを注射した場合は検査終了後約1時間程度、安静室で様子を見てから帰宅していただきます。なるべく同伴者と一緒に来院してください。
4. 必要に応じて、安全な色素などを散布し精密検査をおこないます。良性・悪性などを診断するための病理検査などの目的で、粘膜組織の一部を採取すること（生検）があります。この場合、検査当日は激しい運動および刺激物（アルコール、香辛料など）の摂取を避けてください。なお、心臓や脳血管などの病気をお持ちで内服治療をされている方はお申し出ください。血液が固まるのを防ぐ薬を服用中の方や血液が固まりにくい病気の方は、出血がとまらなくなる可能性がありますので、原則として生検はおこないません。
5. 検査が原因で腹痛などが出現することがありますが、通常数日以内に消失します。検査による重篤な合併症として、出血や穿孔などが発生することがあります。この頻度は、日本全国で検査を受けた方の約0.04%と報告されています。このような重篤な合併症が発生した場合には、再検査、輸血や手術も考慮した治療を適切にかつ迅速におこないます。検査が終了したあとで万一下血や持続する腹痛などがあれば、担当科医師もしくは検査施行医にご連絡ください。
6. ポリープなどがあつた場合、大きさや形によっては内視鏡的に切除（内視鏡的切除術）できることがあります。但し、血液が固まるのを防ぐ薬を服用中の方は、切除できません。この治療をおこなうにあたってはご本人の同意が必要です。当日できない場合は、あらためて後日予約の上でさせていただきます。この治療をした場合は、約10日間は出血や穿孔などの合併症を生じる可能性（切除病変の約0.2%）がありますので、切除当日は食事を制限するとともに、約10日間は旅行、スポーツ、飲酒をやめていただく必要があります。万一、切除後に下血や腹痛を生じた場合は来院していただき、輸血や手術も考慮した適切かつ迅速な治療をおこないますので、担当科医師もしくは検査施行医までご連絡ください。
7. 検査当日の状況により、検査予約時間通りに開始・終了できるとは限らないことをあらかじめご了承ください。

さいたま北部医療センター—048-663-1671（代表）

<緊急連絡先>平日 8:30 - 17:00 : 各科外来受付、左記以外 : 時間外救急外来

さいたま北部医療センター 病院長殿

1. 私は、大腸内視鏡検査と必要に応じた処置や治療、およびその危険性と合併症およびその対処法について説明書の記載事項を読み、その内容を理解し、了承しました。なお、不明な点は検査時に担当医に質問します。
2. 私は、内視鏡の感染防止のための血液検査の必要性について理解し、了承しました。  
したがって私は、さいたま北部医療センター内視鏡部門において大腸内視鏡検査と必要に応じた処置・治療を受けることに同意します。

平成 年 月 日

氏名（本人または代理人）

---

緊急時の連絡先（氏名・続柄）

TEL.

---